

# スコール No.36

令和2年1月15日 たえ今夜は倒れても きっと信じてドアを出る 名古屋市立山田高等学校進路指導部

笑われたことのない人は脆い、

(もろい)

失敗したことのない人は危ない。

『とりあえずウミガメのスープを仕込もう。』 宮下奈都 (扶桑社)

やたらと失敗を避けよう、というより、失敗しそうなものからは逃げようとするタイプの子が多いなあと思うことがある。

誰だって失敗したくはない。

しかし、多くのことは、失敗を積み重ねて、やっと得ることができたり、やっと取り組み方を身に付けたりできるものでしかない。

つまり、失敗から逃げるということは、何もしないということと一緒だ。

何もなくて、何もできないことの方がよほどリスクの高いことであることぐらいは気づけるべきだと思う。

笑われたり、失敗したりしたら、強くなるための経験ができたと思うくらいでいたい。

また、自分は、ひとつのストーリーであるわけだから、今の失敗がのちのち生きてくるのであって、そういう時間の概念を持てることが人間ではなかろうか。

後は、上記の言葉通りで、今、笑われたり失敗したりしたことが無くて、将来大きなそれに耐えることはできますか？

### 総合型選抜（現行 AO入試）

出願 9月1日以降（現行 8月1日以降）  
合格発表 11月1日以降（現行 規定なし）

### 学校推薦型選抜（現行 推薦入試）

出願 11月1日以降  
合格発表 12月1日以降（現行 規定なし）

### 一般選抜（現行 一般入試）

試験日 2月1日～3月25日（現行 2月1日～4月15日）

大きな変更点は、（名称と）「総合型」の出願と合格発表、「学校推薦型」の合格発表が後ろ倒しになった点です。（「総合型」と「学校推薦型」では、「学力を測る試験の必須化と知識技能／思考力や活用力評価の強化」も変更点として発表されていますが、ほとんどの大学では従前から行われていたため、各学校から個別に特段の発表がない限り大きな変更はないものと考えられます。）

### 出願や合格発表の時期の変更に伴って、以下のような影響があります。

- ★ 8月・9月・10月の早期に進学先を決定することはできなくなった。
- ★ 一番早い時期に行われる「総合型」の結果を受けて、「学校推薦型」に挑戦する準備期間が短くなるケースが出てくる。
- ★ 「学校推薦型」の合格発表が遅くなるため、「一般選抜」の準備も進めながらの受験体制を強める必要性が高まる。

### 以下のような注意・対策が必要です。

☆「総合型」で受りたい人は、より早期から準備し、確実に合格を得られるようにする。（合格発表後、他の受験型までの期間が短くなるため、リスクが高くなる。）  
→「総合型」は、一般的な受験教科の学力に不安があり、志望分野についての興味関心が高く、知識もあり、その分野の能力をどのように社会で活かしていくかについて考えを持てる人向き。

☆教科での「学校推薦型」受験を考える。（今までより、一般選抜までの期間が短くなる。教科の学習をしておいた方が、「一般選抜」受験への移行がスムーズ。）

☆あくまで「学校推薦型」を小論文で受りたいならば、「総合型」同様、早期から対策をはじめ、確実に合格を得られるようにする。

（※裏面に愛知大学の英語の資格・認定試験の活用についての予告が印刷してあります。参考にしてください。）

